

NAVIGATION

— 進路指導部便り — 第7号 2019年10月7日

72 回生センター試験まであと103日

発行 夢野台高等学校
進路指導部

特集 大学入試改革 その4 ～英語外部検定試験①～

●英語外部検定試験とは●

2021年度入試からは、大学入試センターが、資格・検定試験の成績を管理する「大学入試英語成績提供システム」が運用されます。受験生が受けた資格・検定試験の成績を大学入試センターが一元的に管理し、入試に利用する大学へ成績を提供するシステムです。導入初年度は、実用英語技能検定（英検）やGTEC、ケンブリッジ英語検定など、システムへの必要な参加要件を満たした資格・検定試験（以下、英語外部検定試験）が対象となります。注意が必要なのは、このシステムに登録できる英語外部検定試験の受験期間と回数です。本来、一部を除き資格・検定試験の受験時期や回数に制限はありませんが、このシステムに登録できるのは、高校3年生以降の4～12月の間に受験した最大2回までの成績のみとなります（一部、例外措置あり）。

なお、英語の資格・検定試験を活用した入試において、必ずしも「大学入試英語成績提供システム」に登録された成績が必要になるとは限りません。システムの成績を活用するかどうかは大学の判断によります。大学により、独自に活用できる資格・検定試験を定めて、受験生が個別にその成績を提出することを認める場合、必ずしもシステムに登録された成績である必要はありません。この場合、活用できる資格・検定試験の種類や受験時期等は大学により定められることになります。

●共通IDの取得●

受験生が、大学入試英語成績提供システムへ成績を登録するには、大学入試センターから個々に発行される共通IDと呼ばれるIDが必要になります。受験生が、システムへの成績登録を希望する場合、英語外部検定試験の受験申込み時に共通IDを記載することで、試験実施主体から大学入試センターへと成績が送付されます。さらに、受験生が出願した大学において英語外部検定試験の成績を活用する場合は、出願時に共通IDを申告することで、大学入試センターから大学へと提供される仕組みです。

大学入試センターから大学へ提供される成績は、各試験のスコアとCEFR（次号参照）の段階別表示、可否（可否がある場合のみ）です。

現役生（現2年生）の場合、共通IDの申込みは、高校を通して今年の11月に行います。また、現3年生も様々なケースを想定して原則全員取得する予定です。申し込みは、2年生より1か月遅い12月になります。（参考：河合塾 Kei-Net）

74 回生 職業人講話 振り返りのまとめ

74 回生（1年生）を対象に、職業人講話を実施

しました。講師にシステムギア株式会社取締役 藤原敬三様をお迎えし、これからのキャリアを切り開いていくために大切なことをお話いただきました。藤原様は、本校の卒業生でもあり、ご自身のキャリアはまさに夢野台高等学校から始まったとして、長年人事のお仕事をされてきたご経験をもとに、後輩たちへ熱く語ってくださいました。ここでは、その振り返りの中から抜粋して紹介します。

●今、自分はなりたい人物像に向かって努力しています。今日の職業人の方のお話で、企業が欲する人材について知ることができてとてもよかったです。理想の人物になるために高校3年間を過ごすことが、この先のキャリア選択に大いに役立つと知り、やる気が出てきました。理系に進んで技術者・研究者となり、よりよい社会の形成に一役を担う人間になりたいとより思いました。今の自分に必要なこと、やるべきことに全力を注ぎ、間違いや後悔のない判断をしていきたいです。高校3年間という短い時間に己の運命がかかっているのだと再認識しました。（1組 男子）

●今、大学の名前にこだわっている人が多いけれど、「名前」ではなく「何をしたいか」が大切なんだと知った。社会は多様に変化していくから、その波に乗り遅れないようにしていかなければならない。だから高校生のうちからできることはしていき、社会に出たときに必要とされる人になるべきだ。大学は専門のことを学ぶから、高校のうちに基礎力をつけて大学、社会人を楽しめるようにしたい。「今したいこと」ではなく、「今すべきこと」に気を付け、今後の生活に生かしたい。

社会に出て活躍している、しかも自分たちと出発点が同じ方が来てくださったおかげで、自分の将来に実感を持つことができ、とても有益な時間だったと思う。

（2組 女子）

●なりたい自分になるために高校のうちからがんばるべきだということを何度もおっしゃっていて、とても印象に残りました。理系の物理に進もうと思ったいるので、理系が求められていることがわかり、よかったなと思いました。よい大学に行くのがす

べてではない、ということでしたが、やはりよい大学に行くと環境が整っているの、大学はよいところに行った方がよいということがよくわかりました。だから高校のうちから頑張って勉強していきたくて思いました。最近勉強を怠っている気がするの、もっと気を引き締めて勉強をしてよい大学に進みたいと思います。自分のためになるともよい講演だったと思います。(3組 男子)

●少なくとも夢野台高校に入学した生徒は私自身も含めてみんな進路について関心があるということ、基礎学力を身につけているということ、もうキャリアは始まっているということ、部活動や課題、遊びに忙しい毎日だけれど、何か目標をもって進む道を明確にしていかなければいけないということ、このようなことがわかった。また、勉強をもっと頑張って自分にできることやこれからの選択肢をどんどん増やしていくべきだと思った。そうすることで自分のやりたいことや、これからの社会にどう貢献できるかを考えられるのではないかなと思ったからだ。今は自分の中でまだ抽象的な想像や少しの理解でしかないが、3年間を通して自分らしく答えを見いだせたらいいなと思う。(4組 女子)

●まだ自分のやりたいことが決まっていないので、こういう機会はしっかりと生かしたい。ゆっくりしていると、すぐにいろんな選択をするようになるので、自分のやりたいことを、もう叶わないとなる前に見つけたい。したいことや明確な目標があれば今後の学校生活の充実度もがらっと変わってくると思うので、見つけられていない今のうちは、とにかく目標を持っている強い子に負けないようにしっかりと踏ん張りたい。転機はいつ訪れるかわからないので、選択肢を狭めないよう、むしろ広げるつもりで全力で一日一日を過ごせたらと思う。努力はどこに行っても必要なもので、いざという時の粘り強さを鍛えていきたいと思った。まずは目の前にあることから始める。(5組 男子)

●職業人の方のお話を聞いて、たくさん感じるがありました。どの選択が正解だったのかは誰にもわからないことなので、その時その時自分が後悔しない選択を自分ですることの大切さが改めてわかりました。そしてこれからの社会では、自分で何か新しいものを生み出す力も大切になってくるのだと思いました。言われてやるだけでなく、自分で考えて生み出す力をつけるよう今から意識して過ごしていく必要があると思いました。今後の高校生活については、将来やりたいことがあるならば、自分を信じて進むべきだという言葉が印象に残りました。そして受験勉強は今しかできず、難関大学に向けて努力することも、自分の力になるのではないかなということに気づきました。これから両親や先生、友達の意見も取り入れながら最終的には自分で後悔しないような選択をしようと思いました。高校受験も自分で選択して、今、後悔はないので、やはり自分で選択することはとても大切だと強く思いました。(6組 女子)

●職業人の方のお話の中で一番印象的だったことは、進路を「自分で」決めるということです。今まであまり自分の将来を深く考えたことはなく、高校生活を過ごしてきましたが、自分の進路について真剣に考え、その進路に向かっていろいろ取り組んでいくことが大切だと感じました。また、勉強時間についての話題がありましたが、僕はまだまだ努力が必要だと感じました。今日の講演を通して、自分の学校生活について今一度深く見つめ直したいと思いました。また、今はまだ決まっていない将来の目標を見つけ、それに向かって努力していきたいと思います。(7組 男子)



駿台 秋の大学ガイダンス

駿台では、各校舎において大学ガイダンスを実施します。各大学の教員や入試担当者が、大学の紹介や最新の入試情報説明等を行います。参加無

料、申し込みも不要です。気になる大学の情報をキャッチするチャンスですので、活用してください。ここでは、神戸校で開催されるものの中からピックアップして紹介します。

10月16日	水	16:40~18:10	神戸薬科
10月19日	土	14:40~16:10	青山学院、中央、法政、明治、立教
10月26日	土	14:40~15:40	立命館
		15:40~16:40	関西学院
11月2日	土	14:00~15:00	同志社
		15:40~16:40	関西
11月5日	火	18:40~19:40	大和
11月8日	金	18:40~19:40	近畿
11月18日	月	18:40~19:40	大阪府立
11月25日	月	18:40~19:40	大阪
11月26日	火	17:40~18:40	早稲田